



2026年6月15日

各位

会社名 INTLOOP 株式会社  
代表者名 代表取締役 林 博文  
(コード:9556、東証グロース市場)  
問合せ先 取締役管理本部長 内野 権  
(E-mail: ir@intloop.com)

(追加)「FY26/7 Q3 第3四半期決算説明資料」の追加に関するお知らせ

2026年6月12日に開示いたしました「FY26/7 Q3 第3四半期決算説明資料」に追加がありますので、お知らせいたします。

追加内容: 次ページ以降の「FY26/7 Q3 第3四半期決算説明資料(追加分)」を追加します。

以上



FY26/7 Q3

# 第3四半期 決算説明資料(追加分)

INTLOOP株式会社

証券コード:9556 東証グロース

2026年6月15日



## (再掲) FY27/7通期業績予想

増強した人的資本の活用に加えて、AIセントリックな運営体制への移行等により、FY27/7も売上高成長率は20%超を見込む。投資は予算内に留め、収益性も堅持。中長期の成長カーブの見立てに変更はなく、引き続き中計目標値の達成を目指す

(百万円)	FY26/7通期 業績予想 (連結)	FY27/7通期 業績予想(連結)	
		予想値	増減率
売上高	40,000	48,000~50,500	20.0%~26.3%
売上総利益	12,500	15,200~16,300	21.6%~30.4%
売上総利益率	31.3%	31.7%~32.3%	—
営業利益	1,400	3,500~4,600	150.0%~228.6%
営業利益率	3.5%	7.3%~9.1%	—
経常利益	1,400	3,500~4,600	150.0%~228.6%
親会社株主に 帰属する当期純利益	650	2,300~3,000	253.8%~361.5%

### ① 売上高・売上総利益

- 足元の需要は引き続き旺盛
- 営業パイプラインの増嵩、新規採用したデリバリー社員の稼働拡大により、売上高成長率は20%超を見込む
- 継続的な単価引き上げにより、売上総利益率は更に向上

### ② 採用費・人件費

- 増強した人材の稼働拡大に注力
- 一定の人材投資は行うものの費用は予算内に留め、収益性回復を重視

### ③ 新規事業投資

- INTLOOP Pocket等のAI関連の新規事業への投資も計画するが、営業利益率7.3%は堅持

## (追加) FY27/7通期業績予想の達成イメージ

足元の収益水準の維持のみでもFY27/7通期の営業利益 32億円は達成可能。  
加えて、新規採用人材の売上貢献等により、営業利益 35～46億円の着地を見込む

